

教育・子育て・医療・老後も 日本共産党 希望の持てる取手市へ



副市長に2021年度取手市予算編成への要望書を手わたす共産党議員団＝9月28日

9月28日、日本共産党加増みつ子・遠山ちえ子・関戸勇・小池えつ子取手市議は、2021年度取手市予算編成に関する要望書を藤井信吾市長に提出しました。

コロナ感染防止対策、教育・保育の整備、災害に強い街、地場産業優先の産業政策に転換、医療・福祉の拡充、大型開発見直し中止など、市民から寄せられた約300件を6分野にまとめたものです。

対応した副市長・政策推進部長は「よく検討します」と答えました。

2021
年度

取手市予算へ要望書提出

① 「新型コロナ」感染抑止 PCR検査の抜本拡大を

国の対策の拡充を求めるとともに、検査体制と減収する医療機関への取手市独自の支援の強化を図ること。繰り返し要望して来た、くらしと営業の回復へ自粛と補償一体での対策を強化すること。

② 豊かな学びと生活へ 教育・保育の充実を

少人数学級実現の流れが広がる中、小中学校全クラスの少人数学級実現へ取手市の積極的な取り組み。戸頭北保育所の廃止・中央保育所の民営化撤回、正規保育士増員で待機児童解消を図ること。

③ 災害に強く 安心して住める街を

災害に強い街づくりを進めること。排水樋管へのポンプ場設置等で内水氾濫の回避。田んぼダム等水田の保水機能拡大。堤防強化工事と河川の定期的なしゅんせつ。防災ラジオの普及と避難所の拡充を。

④ 産業政策は 地場産業優先へ転換を

呼び込み型大規模事業者頼みの政策改め、商・工・農地元産業重視へ、続けられる農業政策の確立。商業(店)の継続・再生。中小事業者振興条例、住宅・店舗リフォーム助成制度創設を。

⑤ いのちと健康まもる 医療・福祉の拡充を

経費削減最優先の統廃合や民営化、自治体職員の非正規化等、構造改革路線の問題点が「コロナ禍」で明らか、「公共の責任」で医療や福祉分野の抜本的拡充で、市民の命と健康を守る市政を。

⑥ 取手駅西口・桑原開発は、 見直し中止を

二大開発への税金投入で生活基盤整備は後回しとなり、市民福祉は予算減少の犠牲とされ、地場産業への否定的影響も大きい、市民福祉向上のまちづくりへの転換を図ること。

安心して預けられる保育所へ

保育士増員で待機児ゼロに 戸頭北保育所 中央保育所 廃止民営化計画は白紙に

市は、「保育所整備計画」による保育所の統廃合・民営化計画を進め、藤井市長就任後、11あった公立保育所が6か所に。さらに戸頭北保育所廃止、中央保育所民営化計画を進めています。「少子化で入所児童が減少する」との誤ったシュミレーションで、保育士も公立

保育所も減らし続けた結果、2010年台宿保育所廃止までゼロだった待機児童は、下表の通り増え続けています。

今、市に必要なのは過去の保育行政の誤りを正し、老朽化した保育所を改築し存続させること。保育士の増員で待機児をなくすことです。子育てこそ



存続が求められる駅に近い戸頭北保育所

確かな未来への優先すべき投資であり、巨額の税金を投入する取手駅西口開発のタワーマンション建設など不透明な開発から撤退すべきです。



公立で存続が求められる中央保育所（藤代庁舎そば）

2010年台宿保育所廃止に続き井野・稲・戸頭東保育所民営化後増え続ける待機児童

「取手市保育所整備計画」＝統廃合・民営化の影響は

	2014年	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	4月1日						
待機児童数	0	4	8	13	11	15	24
	10月1日						
(人)	2	36	40	46	32	43	未公表

*上記は毎年度4月1日、10月1日時点の待機児童数。(取手市資料より)
各年度末(3月1日)の待機児童は2018年91人、2019年89人のように増加している。

「保育所整備計画」(素案)で、取手市がパブリックコメント

今年1～2月実施。95～100%が計画に反対 賛成者ゼロ

意見(抜粋)は裏面に

政権交代！

市民と野党の共闘広げ野党連合政権を



市民と共産・立憲・生活者ネットの各代表、無党派市議が参加し「政権交代」とアピール。9月26日、雨の中取手駅東口前広場 戦争させない・9条壊すな！総がかり取手行動

「安倍政治の継承・発展」を最大の看板に、新型コロナ禍に苦しむ国民に「まずは自助」と自己責任を押し付け、人事権で強権をふるう菅新政権。「次の総選挙で政権交代」を求める世論が広がっています。

市民連合が野党に政策要望

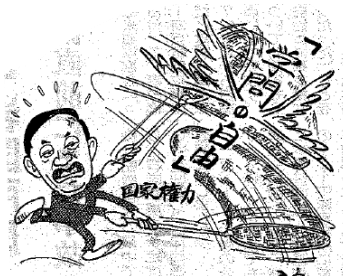
市民と野党の共闘を進めてきた「市民連合」は、各野党に対して、次の総選挙で、野党による政権交代を実現するための15項目の政策要望書を提

出しました。野党間の協議で内容を豊かなものにし、野党共闘勝利で政権交代の実現、野党連合政権を樹立することを求めています。

野党共闘で積み上げた政策発展さらに

市民連合の政策要望は、これまでの共闘を土台に野党間で積み上げた ①憲法に基づ

く立憲主義・民主主義・平和主義の回復 ②格差をたたくらし家計応援第1の政治 ③多様性を大切に個人の尊厳を尊重する政治。これら3項目に一致する内容に含まれるものです。



「待てー」就任初仕事がこれ？

菅首相が、日本学術会議推薦の会員中6人を、理由を示さず任命拒否したことに、各界各層から「任命拒否を撤回せよ、理由を示せ」と急速に抗議の世論が広がっています

菅首相は、任命拒否撤回せよ

菅首相は「法に基づき適切に」「総合的、俯瞰的観点から、判断した」と言いながら、「推薦者名簿は見えていない」などと支離滅裂な説明を繰り返すばかり。説明がつかなくなると、同会議を「行政改革」の対象にと論点そらしに懸命です。

学術会議法改定審議の際、当時の中曽根首相は、「政府が行なうのは形式的任命」「学問の自由・独立は保障される」と明言しています。

広範な科学者・学会から抗議広がる

今回の同会議会員の任命拒否は、官僚支配の人事権を使い、科学者までも支配しようとする菅政権の危険性を早くも明るみにしました。わずかな期間に同会議会員任命拒否に抗議し撤回を求め、社会・物理・数学・自然・教育等約200件のあらゆる学会が「学問の自由」を守れと声明を上げるなど世論は急速に広がります。



日本学術会議への人事介入に抗議する人々＝10月6日、首相官邸前

日本学術会議
「学問の自由」守れ
世論広がる

市のパブリックコメント

第4次取手市保育所整備計画（素案）＝戸頭北廃止 中央民営化

【今年1～2月実施】（取手市公表の市民の意見。紙面の都合から抜粋して紹介します）

- ◆急な廃止案にとっても驚き不安な日々。兄弟もここにと考えていた。
- ◆戸頭北保育所は駅から近く電車通勤はとても便利、周りが国地で安全に通える
- ◆保育所は、自宅に近いのと通勤経路で選択。延長保育の料金も考えて選んでいる。
- ◆公立保育所をこれ以上減らさないで、少子化で子どもは減っても待機児童がいる。
- ◆永山保育所迄は、朝の忙しい時間、保護者にとって大変負担。
- ◆戸頭に公立保育所がなくなり、地域の大きな問題なのに住民説明会も行われていない。
- ◆北保育所廃止、中央保育所民

- 営化してまで他の保育所職員を補充しないと足りないの？
- ◆子どもの数は減っていても実際に待機児がいるのに納得いかない。
- ◆未来を担う子どもにこそ税金を使い、取手に住みたくなる子育て支援を。
- ◆「第2期取手市子ども・子育て支援事業計画」の児童数が減少傾向の中、戸頭・永山学校区域は将来児童の増加が予測されているのに
- ◆この5年間、在園児にとって大きな転換期、子ども達が大きな混乱なく楽しく保育所生活が出来ることを祈る。
- ◆正規保育士増で安定した保

- 育環境を。国以上の保育士配置基準を今後も継続してほしい。
- ◆保育環境を整えることで若者呼び込める街づくりをすべきです。
- ◆財政が限られる中でこそ、教育・福祉・保育重点の予算配分で未来への積極的な投資を。
- ◆公立保育所をどんどん減らす市の姿勢を見直して。
- ◆「児童が減るだろうから」「老朽化した施設を立て直す予算がない」と言われるが、子育て世代は税収の大きな柱。また保育所を廃止する間違った選択をされぬよう。
- ◆市のアンケートに6割以上が「自宅から近い」「職員の対応

- が充実している」と回答。なのに廃止とは、アンケートで何を得たかったんですか？
- ◆こんな良い保育所をなくさないで。
- ◆今の環境の変化は避けたい親の想い解りますよね？わが子はまだ未満児なので困ります。
- ◆東京通勤しながら3人の子どもを育てることができました。
- ◆「子育てするなら取手で」と、若い世代が取手に移り住んだ。私もその一人。存続を願うのは現在の保護者だけでなく卒園させた親や卒園生たちの願いです。